

第5回 下野市海外派遣事業報告会

令和5年10月28日(土)下野市役所にて、海外派遣事業報告会が行われました。市内から16名の生徒が9月17日(日)~23日(土)までドイツの Dietzhöhlztal(ディーツヘルツタール)へ訪問し、ホームステイをしてきました。一人一人、心に残ったことなどを発表し、市長をはじめとする市当局や国際交流協会の方々などに成果を報告することができました。

<国分寺中学校から参加した3名の生徒が発表している様子>



ドイツでの歓迎パーティーの様子

来年の3月にはホームステイ先の生徒たちが日本に訪問します。国分寺中学校への学校訪問も予定されていますので、その際には、温かく迎え入れてください。



在フランクフルト日本国総領事館ホームページより



9月19日、エーヴァスバッハのクローンベルクフォーラムにおいて、麻妻信一在フランクフルト日本国総領事からディーツヘルツタール町への令和4年外務大臣表彰授与式が行われました。授賞式は、姉妹都市である栃木県下野市から訪れた中学生海外派遣団の歓迎会の中で行われ、市議会議員、日本からの来賓、青少年、ホストファミリーも参加しました。

ディーツヘルツタール町と栃木県下野市は、1975年以来(当時はシュタインブリュッケン町と石橋町という)姉妹都市であり、ヘッセン州で最も古い日独姉妹都市です。両市を結ぶ石橋は、ディーツヘルツタール町の入り口に目立つように建てられ、町中ではほかにも絆の目印がたくさんあります。青少年と成人で構成される定期的な訪問団により、友好関係は非常に活発で、2025年には姉妹都市提携50周年の交流を迎えます。

式中では、アンドレアス・トーマス市長とシュテファン・ショル市議会議員より感謝が述べられ、その後参加した人々で歓談が行われました。



日本の外務大臣から、ディーツヘルツタールへ表彰状が送られました。